

# 平成31年度予算(案)の概要

※ 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがあります  
※平成30年度予算は、平成30年度当初予算(骨格的予算)+補正予算(政策的予算)の合算した数値を示しています。

# 平成31年度予算(案)の概要

(単位:千円、%)

| 会 計 名            |                     | 平成31年度<br>A | 平成30年度<br>B  | 増減<br>C=A-B | 伸び率<br>C/B |
|------------------|---------------------|-------------|--|-------------|------------|
| 一                | 般 会 計               | 52,500,000  | 52,900,000<br><small>当初予算 52,451,000<br/>補正予算(第1号) 449,000</small> | △ 400,000   | △ 0.8      |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 | 11,367,000  | 11,789,000   | △ 422,000   | △ 3.6      |
|                  | 国民健康保険特別会計(直診勘定)    | 228,000     | 210,000  | 18,000      | 8.6        |
|                  | 後期高齢者医療保険特別会計       | 1,392,000   | 1,365,000  | 27,000      | 2.0        |
|                  | 介 護 保 険 特 別 会 計     | 11,574,000  | 11,653,000   | △ 79,000    | △ 0.7      |
|                  | 休日急患診療所特別会計         | 46,000      | 42,000   | 4,000       | 9.5        |
|                  | 農業集落排水事業特別会計        | 1,402,000   | 1,401,000  | 1,000       | 0.1        |
|                  | 合 計                 | 26,009,000  | 26,460,000   | △ 451,000   | △ 1.7      |
| 企<br>業<br>会<br>計 | 病 院 事 業 会 計         | 20,720,533  | 20,011,196   | 709,337     | 3.5        |
|                  | 老人保健施設事業会計          | 504,000     | 521,000  | △ 17,000    | △ 3.3      |
|                  | 公共下水道事業会計           | 7,887,338   | 8,420,539  | △ 533,201   | △ 6.3      |
|                  | 合 計                 | 29,111,871  | 28,952,735   | 159,136     | 0.5        |
| 総 合 計            |                     | 107,620,871 | 108,312,735  | △ 691,864   | △ 0.6      |

# 平成31年度予算(案)のポイント

## (1) 分野横断課題である「重点プロジェクト枠」を設定し、総合計画の着実な推進に向けたメリハリのある予算を編成

- ◆ 重点プロジェクトを推進するプロジェクト予算枠を設定するとともに、総合計画の着実な推進に向けて、徹底した事業の「選択」と「集中」を図り、費用対効果の高いメリハリのある政策型予算を編成。

## (2) 合併算定替終了を見据え財政の自立性と健全性を堅持

- ◆ 合併算定替の縮減により普通交付税が2億円縮小(合併算定替の縮減5年目)

- ◆ 一般会計 予算規模 525億円 前年度予算比 △4.0億円 △0.8%

- ◆ 「中期財政見通し」に沿った財政規律の確保

- 普通建設事業の適正化、進捗調整 H31 65.6億円(中期財政見通し 104億円)
- 公債費負担の軽減と市債残高の縮小
  - ・ 市債残高(予算ベース) H30 463.3億円(財政計画467.8億円) →H31 462.2億円(△1.1億円)
  - ・ 基礎的財政収支 5.0億円の黒字(H30 8.7億円の黒字)
- 基金の活用 公共施設等整備基金8.7億円のほか各種特定目的基金及び減債基金の繰入、財政調整基金の確保

## (3) 平成30年度3月補正と一体的に予算を編成

- ◆ 公共施設の改修や地域医療の対応等の喫緊の課題について、平成30年度3月補正予算へ前倒し編成するとともに、国の大型補正予算への対応についても平成31年度当初予算と一体的な編成を検討。

# 平成31年度における施策推進の取組姿勢

## 未来につなぎ 長浜の“元気”を創造する

平成31年度当初予算は、人口減少・少子高齢化の中でも長浜らしく輝きつづけるため、引き続き子育て支援の充実を図りつつ、元気で心豊かに過ごせる環境づくりや、人のつながりにより安心して暮らせる仕組みづくりを行うとともに、産業の活性化や生活基盤の整備を進め、市民の活力を上げる「元気創造予算」を編成しました。

### 教育・文化・スポーツ【元気で心豊かな人を育む「環境づくり」に取り組みます】

(仮称)北部地域総合体育館や産業文化交流拠点(文化福祉棟)の竣工に向け整備を進めるとともに、総合的な教育施策(長浜スタイル)を構築するための新たなプロジェクトの立ち上げや、デジタル教科書の導入を始めとした教育環境のICT化を進めるなど、市民が元気で心豊かに過ごせる環境づくりに取り組みます。

### 地域福祉・市民協働【いきいきと人がつながる「新たな仕組み」を取り入れます】

市民が身近な地域福祉や市民協働のまちづくりに参画し、住み良い暮らしや生きがい高め合う「地域共生社会」を推進する仕組み・体制を導入するとともに、しょうがい者の相談支援のサポート体制を構築するための基幹相談支援センターを設置します。また、市民活動の拠点となるまちづくりセンターの整備を進めます。

### 産業・都市基盤整備【活力にあふれ生活基盤の整った「まちづくり」を進めます】

(仮称)ながはま産業創造センターの整備や元浜町13番街区、長浜駅北地区等中心市街地の活性化事業を進めるとともに、市南部地域の都市拠点となる田村駅周辺の整備や道路・街路・橋梁等の生活基盤となるインフラ整備を進めます。

# 平成31年度予算(案)の特徴①

## 元気で心豊かな人を育む「環境づくり」

(仮称)北部地域総合体育館や産業文化交流拠点(文化福祉棟)の竣工に向け整備を進めるとともに、総合的な教育施策(長浜スタイル)を構築するための新たなプロジェクトの立ち上げや、デジタル教科書の導入を始めとした教育環境のICT化を進めるなど、市民が元気で心豊かに過ごせる環境づくりに取り組みます。

### 新たな人材・市民活動・ 文化・賑わいの創出

- ・産業文化交流拠点施設整備
- ・中央図書館整備

文化

教育

### 確かな学力の向上

- ・教科指導におけるICTの活用
- ・「学力向上策」の具現化
- ・「長浜の教育」の策定・実践

スポーツ

### 地域スポーツの普及

- ・滋賀国スポに向けた(仮称)北部地域総合体育館整備



# 平成31年度予算(案)の特徴②

## いきいきと人がつながる「新たな仕組み」

市民が身近な地域福祉や市民協働のまちづくりに参画し、住み良い暮らしや生きがい高め合う「地域共生社会」を推進する仕組み・体制を導入するとともに、しょうがい者の相談支援のサポート体制を構築するための基幹相談支援センターを設置します。また、市民活動の拠点となるまちづくりセンターの整備を進めます。

### 地域福祉



### 市民協働



## 『地域共生』

誰もが住み慣れた地域で、  
生きがいをもって暮らし、  
共に支え合う社会の推進

### 地域共生社会推進事業

- ・コーディネートを担う人材の住民組織活動への派遣、相談活動及び交流の拠点づくり

### しょうがい者基幹相談支援センター設置

- ・地域における相談支援の中核的役割
- ・人材育成に寄与するサポート体制整備

### 市民まちづくりセンターの整備

- ・安全・安心・快適な施設利用環境の提供
- ・まちづくり活動・生涯学習活動の充実

# 平成31年度予算(案)の特徴③

## 活力にあふれ生活基盤の整った「まちづくり」

(仮称)ながはま産業創造センターの整備や元浜町13番街区、長浜駅北地区等中心市街地の活性化事業を進めるとともに、市南部地域の都市拠点となる田村駅周辺の整備や道路・街路・橋梁等の生活基盤となるインフラ整備を進めます。

長浜企業を総合的に  
支援する機関の設置



- (仮称)ながはま産業創造センター整備事業の支援

商業機能等をもつ  
居住施設の整備



- 元浜町13番街区整備事業及び長浜駅北地区整備事業の支援

田村駅周辺を中心とする  
南部地域の都市拠点の整備



- 田村駅周辺整備事業の継続

### 産業の活性化

- 産業を創り育てるまち
- 活発に人が行き交うまち

### 生活基盤の整備

- 居住環境の整ったまち
- 安心して暮らせるまち

未整備道路や老朽化の進む  
道路及び橋梁を整備



- 橋梁の長寿命化事業及び市民生活に身近な道路等の整備

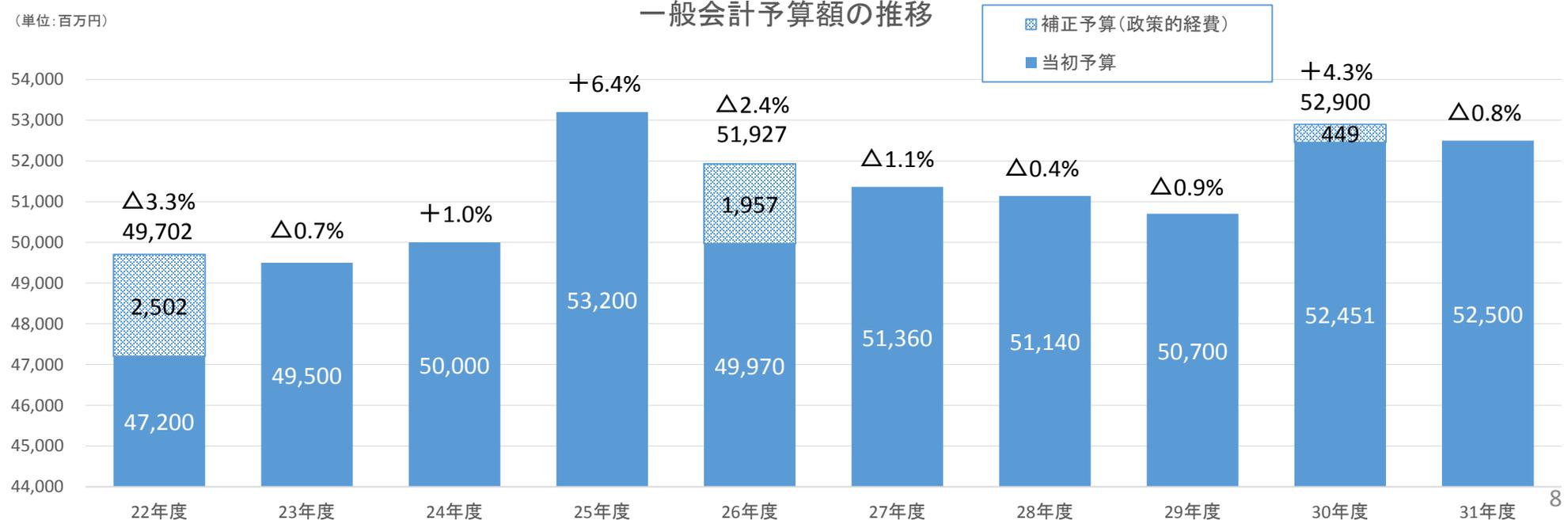
# 一般会計予算の状況と推移

## 予算額は525億円で、予算規模は4億円の縮小

- 平成31年度当初予算は、前年度から4億円の減(△0.8%)となりました。
- 普通建設事業((仮称)北部地域総合体育館、元浜町13番街区、田村駅周辺整備、(仮称)ながはま産業創造センター等)が大幅に増加した一方、消防本部庁舎整備事業はピークを超え湖北地域消防組合負担金が減少したことや、市債の繰上償還等の減少により予算総額は縮小しています。
- 普通交付税の合併算定替の終了が平成32年度に迫り、本市の財政規模を財政計画の基調に基づき適切に縮小させることが必要となっています。持続可能な財政運営を堅持するとともに、行政改革により長浜市の元氣創造に振り向ける果実を生み出す行政運営を進めていきます。

(単位:百万円)

### 一般会計予算額の推移



# 一般会計歳入の状況

## ・市税は前年度比13百万円増

法人市民税の減収が見込まれる一方、給与所得の増加による個人市民税の増や家屋の新增築に伴う固定資産税の増により、市税全体で+0.1%となりました。

## ・地方交付税は前年度比同額で予算措置

普通交付税は合併算定替の縮減等により2億円減少、特別交付税は決算状況等から2億円増加を見込み、±0%となりました。

## ・国庫支出金は前年度比4億35百万円増

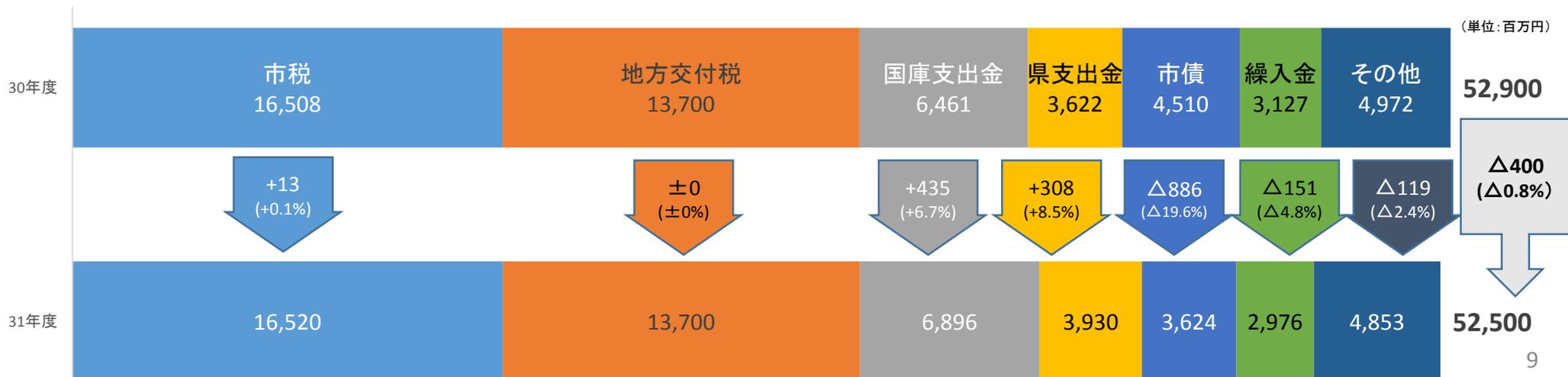
中心市街地の再開発事業及び(仮称)北部地域総合体育館等の普通建設事業の増加や、児童扶養手当の制度変更等により、+6.7%となりました。

## ・市債は前年度比8億86百万円減

消防本部庁舎や北部学校給食センターの市債の減少、及び市債の借入を抑制したことにより、△19.6%となりました。

## ・繰入金金は前年度比1億51百万円減

普通建設事業の増加により、公共施設等整備基金等の特目基金の繰り入れが大幅に増加した一方、市債の繰上償還の減少により減債基金の繰り入れが大幅に減少し、△4.8%となりました。



# 一般会計予算歳入の状況

## 自主財源比率は前年度比0.2ポイント低下

・自主財源比率は41.1%となり、前年度比△0.2ポイントとなりました。比率が低下した原因として、基金繰入金や諸収入等のその他財源が0.5ポイント減少し自主財源が減少した一方で、大型建設事業の影響等により国県支出金が1.5ポイント増加し依存財源が増加したことによるものです。

・地方交付税が26.1%を占めており、市税に次ぐ構成割合になっています。普通交付税の合併算定替の終了が間近となっており、交付税に依存しない自立した財政運営が求められています。

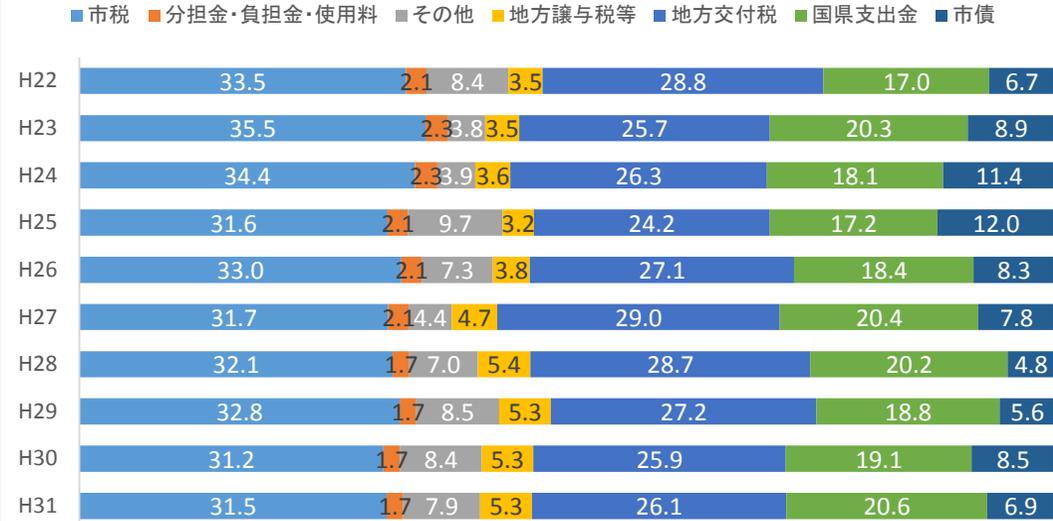
## 主要一般財源は全体で前年度から3億37百万円の減少

・市税は13百万円増加したものの、臨時財政対策債は3億50百万円の減少となり、全体で△1.1%となりました。

・地方交付税については、合併算定替が平成32年度で終了します。本市の人口は減少傾向にあり、市税収入が大きく増加することが見込めないことから、来年度の主要一般財源はさらに減少していく傾向にあります。

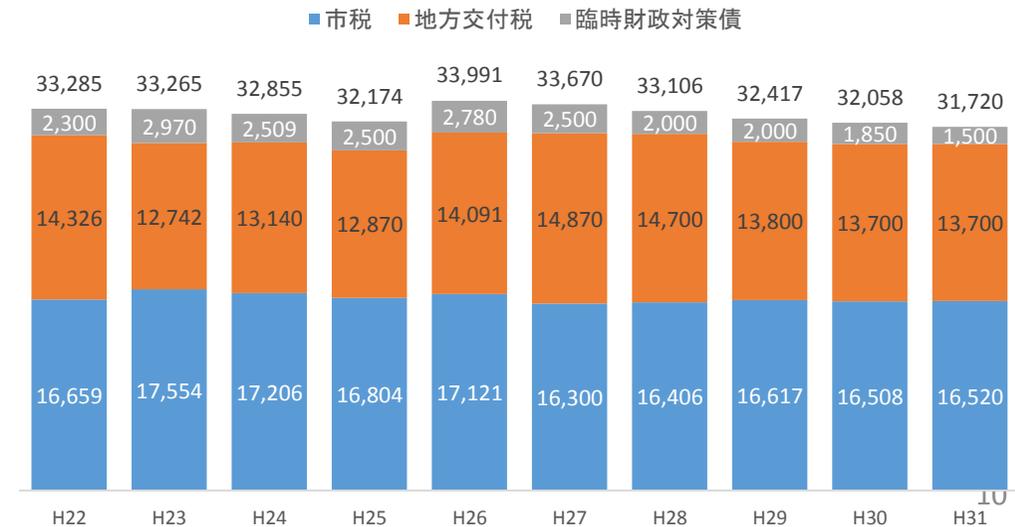
### 歳入構成割合

(単位:%)



### 主要一般財源の推移

(単位:百万円)



# 一般会計予算歳入の状況

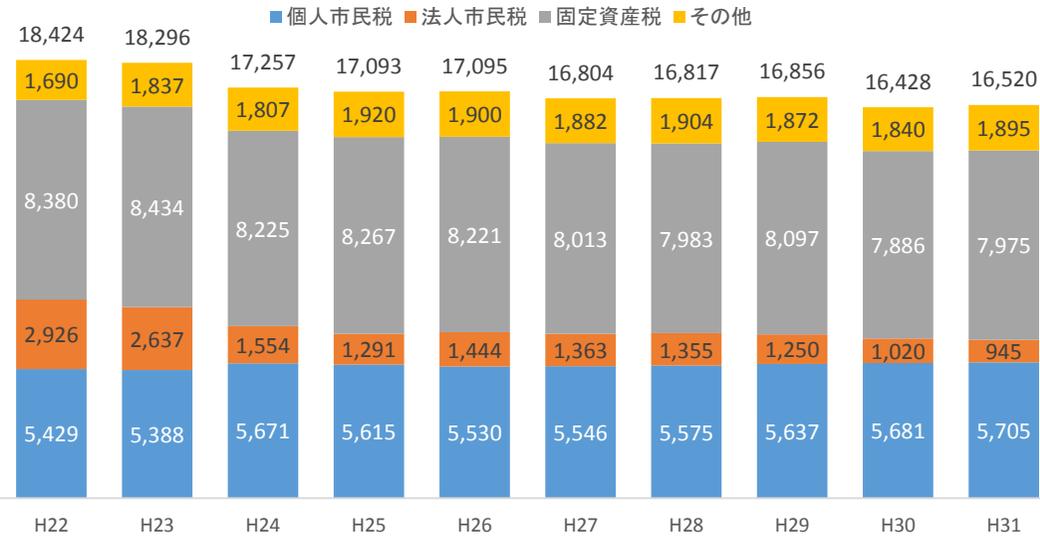
## 市税は全体で前年度から92百万円の増加

- ・給与所得の増加等により個人市民税が23百万円の増(+0.4%)、法人市民税は主要法人の減収減益を見込み75百万円の減(△7.4%)となりました。
- ・固定資産税は、家屋の新增築により89百万円の増(+1.1%)となりました。
- ・たばこ税は、たばこ税の税率改正による段階的な増税により22百万円の増(+3.2%)となりました。

## 市税の推移

※H22～H29は決算ベース、H30～は予算額ベース(H30は現計予算)

(単位:百万円)



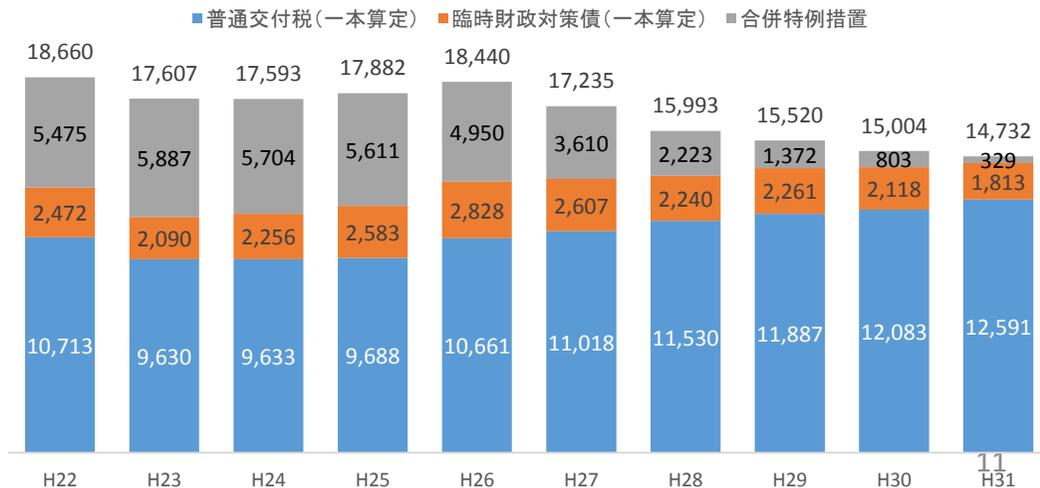
## 普通交付税・臨財債は合併算定替の縮減等により減少

- ・普通交付税は、基準財政収入額が市民税等の減により減少したことや、基準財政需要額が臨時財政対策債振替相当額が減少したこと等、増加傾向要素があるものの、合併算定替の縮減により127億円と見込み、2億円の減(△1.6%)となりました。また、臨時財政対策債は15億円を見込み、3億50百万円の減(△18.9%)となりました。
- ・普通交付税は、市町村合併による行政区域の広域化を反映した算定方法の見直しの影響で、一本算定が増加傾向にありますが、合併特例措置は平成32年度で終了することから合併特例措置は大きく減少しており、総額は減少傾向にあります。

## 普通交付税の推移

※H22～H29は決算ベース、H30は決算見込ベース、H31は試算額ベース

(単位:百万円)



# 一般会計歳出の状況(目的別)

## ・民生費は前年度比1億87百万円増

児童扶養手当の制度変更や、しょうがい福祉施設、介護施設の整備支援等により増加し、前年度から+1.0%となりました。

## ・教育費は前年度比14億96百万円増

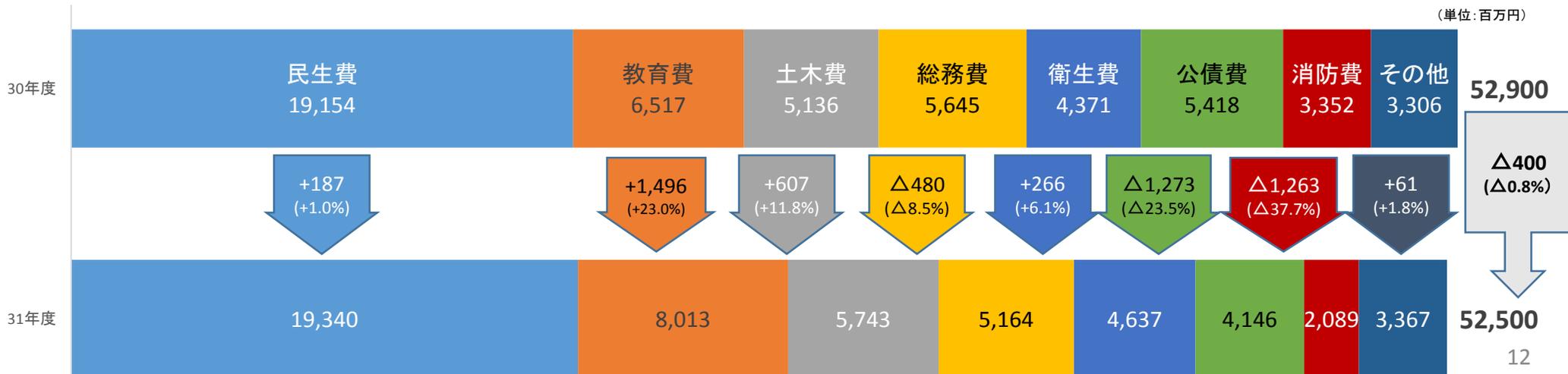
北部学校給食センター整備や、小・中学校、生涯学習施設の改修経費が減少したものの、(仮称)北部地域総合体育館の整備費が大きく増加したため、前年度から+23.0%と大幅に増加しました。

## ・土木費は前年度比6億7百万円増

元浜町13番街区に係る市街地再開発事業や長浜駅北地区の整備に対する補助や、田村駅周辺整備費が増加したため、前年度から+11.8%となりました。

## ・公債費は前年度比12億73百万円減、消防費は前年度比12億63百万円減

公債費は計画的な繰上償還により市債元金償還金が2億47百万円減少したことに加え、繰上償還金が9億71百万円減少したため、前年度から $\Delta 23.5\%$ となりました。消防費は消防本部庁舎整備に係る湖北地域消防組合負担金が大幅に減少したため、前年度から $\Delta 37.7\%$ となりました。



# 一般会計歳出の状況(性質別)

## ・扶助費は前年度比73百万円増

児童手当支給費は減少したものの、児童扶養手当の支給回数の見直しに伴う増加により、前年度から+0.7%となりました。予算を適切に配分するため、予算不用額を精査し予算額の増加抑制に努めており、実質的にはより増加の傾向です。

## ・普通建設事業費は前年度比21億64百万円増

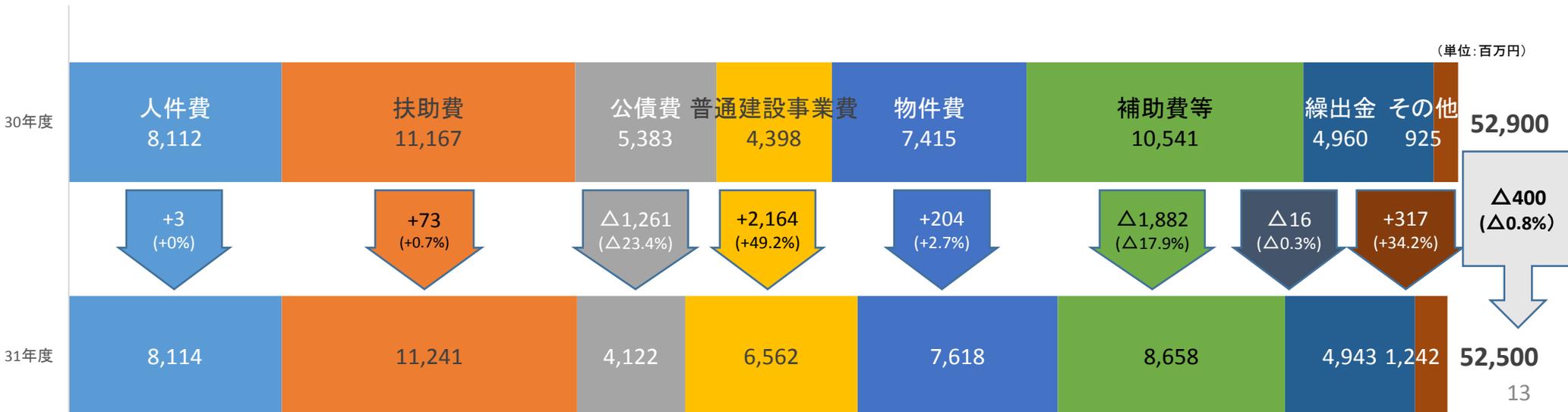
北部学校給食センター整備事業が減少したものの、(仮称)北部地域総合体育館、元浜町13番街区、田村駅周辺、産業創造センター、長浜駅北地区、しょうがい福祉施設等の整備費及び補助金が増加したことにより、前年度から+49.2%となりました。

## ・物件費は前年度比2億4百万円増

産業文化交流拠点(文化福祉棟)や(仮称)北部地域総合体育館の開館に係る備品整備や、田村駅整備の基本設計、図書館資料のICタグ貼付・移送業務、参議院議員選挙執行費等が増加したことにより、+2.7%となりました。

## ・補助費等は前年度比18億82百万円減

斎場整備事業に係る湖北広域行政事務センター負担金が増加したものの、湖北地域消防本部庁舎整備に係る湖北地域消防組合負担金や公共下水道事業会計への負担金の減少により、 $\Delta 17.9\%$ となりました。



# 一般会計予算歳出の状況

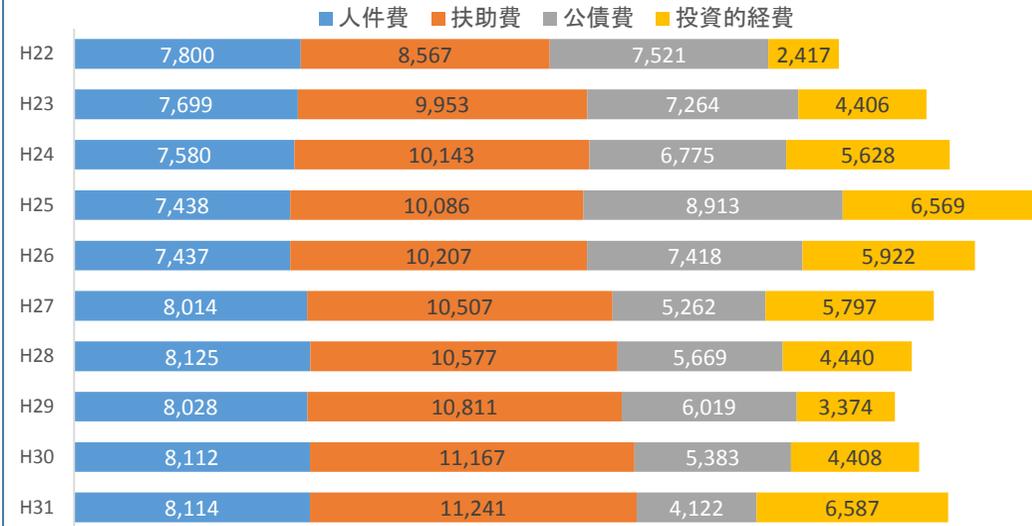
## 義務的経費は減少し、投資的経費は増加

・義務的経費は、人件費や扶助費が増加したものの、公債費の減少により、全体として減少しています。公債費は繰上償還の実施により通常償還分は減少していますが、扶助費は社会保障関係経費が増加傾向にあり、義務的経費を押し上げています。

・投資的経費は、(仮称)北部地域総合体育館、元浜町13番街区、田村駅周辺、産業創造センター、長浜駅北地区、しょうがい福祉施設等の整備費及び補助金の大幅な増加により、前年度から21億64百万円増加しています。

### 義務的経費と投資的経費の推移

(単位:百万円)



## 投資的経費はH30・31と大きく増加 市債発行を抑制し基金を活用

・平成31年度の投資的経費は大型建設事業が集中し、当初予算は65億87百万円となっており、計画的な予算化を行っていますが、非常に多額となっています。

・投資的経費の財源は、毎年の財政負担の平準化や、現世代と将来世代の負担を公平にするため、市債発行に頼ることが一般的ですが、市債発行が多額になると、将来的に財政の硬直化が必至となります。できる限り発行を抑制し、これまでの行財政改革で生み出した特定目的基金を充当することで、投資的事業の推進と財政の健全化を両立しています。

### 市債残高・投資的経費・市債発行額の推移

(単位:百万円)

(単位:百万円)

※H22～H29は決算ベース、H30～は予算ベース



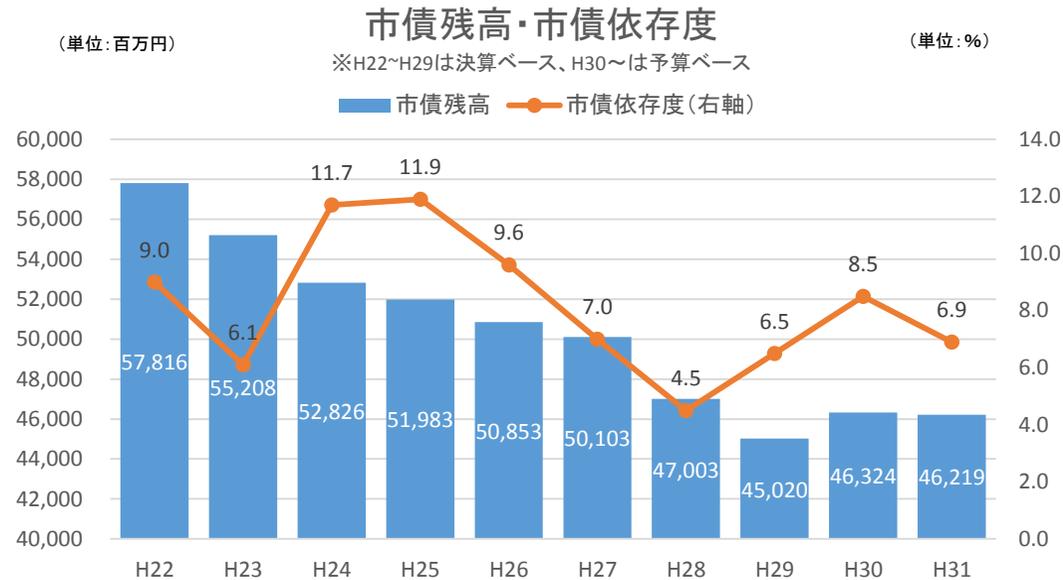
# 平成31年度市債の状況

## 市債残高は計画的に削減

- 市債残高は、市町合併後減少傾向にあり、平成24年度からの計画的な繰上償還により市債残高は、前年度費1億5百万円の減少(△0.2%)となっています。
- 平成31年度は大型建設事業に伴う市債発行を計画していましたが、元金償還金を越えて市債を発行すると、将来的に市債償還額の増加により財政の硬直化を誘発することから、市債依存を最小限に調整しています。市債の借入は年度中の借入や償還を見据えながら、必要な予算措置を引き続き検討します。

## 基礎的財政収支は4億98百万円の黒字

- 基礎的財政収支(プライマリーバランス)とは、一般会計において、歳入総額から市債発行額を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランスをいいます。
- 平成31年度の基礎的財政収支は、4億円98百万円の黒字となっており、平成22年度以降で最低となっています。
- 基礎的財政収支の黒字化を維持することで、地方債残高の増加を防ぎ、財政の健全な運営を維持できるため、引き続き基礎的財政収支の黒字化に努めていきます。



# 平成31年度各基金の状況(一般会計)

基金とは、財政運営を計画的に行うため、あるいは特定の目的のために、資金の維持や積立を行うもので、家計における預貯金に相当するものです。積立てられた資金や運用利子は、様々な事業の財源として活用しており、現在20種類(平成31年4月1日から19種類)の基金により管理しています。

平成31年度は、(仮称)北部地域総合体育館や産業文化交流拠点等の大規模な普通建設事業が増加したことから、公共施設等整備基金をはじめ、中心市街地活性化基金や教育施設整備基金、地域福祉基金の繰り入れが大幅に増加しています。そのほか、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業や、計画的に実施する施設の改修・維持保全等に充当するため、それぞれの使途に応じた基金の繰り入れを行います。

本市では、地方交付税の合併算定替えの縮減や人口減少に伴い経常的な財源が減少する中で、引き続き市民に元気を生み出す施設改修や、行政改革アクションプランに基づく繰上償還等を実施していく必要があります。今後も健全な財政運営を行いながら、事業の実施を円滑に行っていくよう計画的な基金の積立及び活用を行っていきます。

(単位:千円)

| 基金の名称              | 基金の使途   | 平成30年度末<br>現在高(見込) | 平成31年度積立額(予算額) |          | 平成31年度取崩額(予算額) |                                      | 平成31年度末<br>現在高(見込) | 増減額       |
|--------------------|---|--------------------|----------------|----------|----------------|--------------------------------------|--------------------|-----------|
|                    |   |                    |                | 積立財源     |                | 主な充当事業                               |                    |           |
| 財政調整基金             | 大規模な災害や不測の事態の財政需要に備えるとともに、市財政の調整を図り、健全な運営に資する財源 | 5,648,580          | 16,015         | 運用収益(利子) | 0              |                                      | 5,664,595          | 16,015    |
| 減債基金               | 市債償還の財源   | 8,856,705          | 27,887         | 運用収益(利子) | 803,532        | 市債償還金                                | 8,081,060          | △ 775,645 |
| 職員退職手当基金           | 市職員の退職手当に必要な財源                                  | 1,897,232          | 5,167          | 運用収益(利子) | 0              |                                      | 1,902,399          | 5,167     |
| 特定目的基金<br>ふるさと振興基金 | 市の歴史、文化及び自然を生かした魅力あるふるさとづくりを推進する事業              | 406,913            | 1,139          | 運用収益(利子) | 9,750          | 街並み景観形成事業補助金、夜の賑わいづくり推進事業補助金         | 398,302            | △ 8,611   |
| 地域福祉基金             | 市民の福祉の向上、子育て支援、健康づくり及び医療の充実に資する事業               | 2,054,102          | 0              |          | 136,316        | しょうがい福祉施設整備支援事業補助金、産業文化交流拠点(文化福祉棟)整備 | 1,917,786          | △ 136,316 |
| 文化芸術振興基金           | 文化及び芸術の振興を目的とする事業                               | 120,558            | 0              |          | 1,540          | 文化芸術活動振興事業、観音文化振興事業                  | 119,018            | △ 1,540   |

| 基金の名称                    | 基金の用途  | 平成30年度末<br>現在高(見込) | 平成31年度積立額(予算額) |                                 | 平成31年度取崩額(予算額) |  | 平成31年度末<br>現在高(見込) | 増減額         |
|--------------------------|--|--------------------|----------------|---------------------------------|----------------|--|--------------------|-------------|
|                          |  |                    |                | 積立財源                            |                | 主な充当事業                                       |                    |             |
| 教育施設整備基金                 | 教育施設の整備  | 1,666,864          | 4,888          | 運用収益(利子)                        | 309,055        | 産業文化交流拠点(文化福祉棟)整備                            | 1,362,697          | △ 304,167   |
| 協働でつくる長浜まちづくり基金          | 市民と協働でつくる輝きと風格のあるまちづくりを推進する事業                              | 4,126,417          | 0              |                                 | 0              |  | 4,126,417          | 0           |
| 丹生ダム対策基金                 | 丹生ダム建設に伴う水源地域整備計画事業、丹生ダム建設                                 | 77,478             | 3,889          | 水資源機構行政補償金、運用収益(利子)             | 0              |  | 81,367             | 3,889       |
| 電源立地地域対策交付金等事業基金         | 電源立地地域対策交付金や電源立地等推進対策交付金により整備した公共施設の修繕、維持補修、運営             | 28,435             | 3              | 運用収益(利子)                        | 3,628          | スポーツ施設修繕、プール施設維持管理、夜間照明施設維持管理                | 24,810             | △ 3,625     |
| 中心市街地活性化基金               | 中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地の活性化事業                                | 313,598            | 0              |                                 | 313,598        | 元浜町13番街区整備事業、長浜駅北地区整備事業、中心市街地活性化推進事業         | 0                  | △ 313,598   |
| 地球温暖化対策推進基金              | 自然エネルギー施設の導入などの地球温暖化対策を推進する事業                              | 71,056             | 1,038          | 運用収益(利子)、太陽光発電売電収入              | 17,275         | 再生可能エネルギー導入促進事業、林業振興対策事業、中小企業振興対策事業          | 54,819             | △ 16,237    |
| 特定目的基金<br>山間へき地医療体制強化基金  | 山間へき地における医療体制の維持及び強化、長浜市国民健康保険直営診療所の事業運営                   | 971,589            |                |                                 |                |  |                    |             |
| 特定目的基金<br>過疎地域自立促進特別事業基金 | 過疎地域自立促進計画に掲げる過疎地域自立促進特別事業                                 | 97,540             | 298            | 運用収益(利子)                        | 11,600         | 過疎地域振興事業支援交付金、診療所運営                          | 86,238             | △ 11,302    |
| 公共施設等保全整備基金              | 市が所有する建築物等の改修、維持保全、整備                                      | 1,271,259          | 23,365         | 一般財源(行革アクションプランに基づく積立)、運用収益(利子) | 63,700         | 文化施設改修工事、スポーツ施設改修工事                          | 1,230,924          | △ 40,335    |
| 地域の元気づくり基金               | 緊急経済対策に係る公共投資や多様な地域資源を活用した地域経済の循環の創出を円滑に行い、本市の産業力の底上げを図る事業 | 349,258            | 0              |                                 | 9,060          | 地域経済活性化対策事業、特産品育成事業                          | 340,198            | △ 9,060     |
| まち・ひと・しごと創生総合戦略推進基金      | 人口ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく人口減少対策と地域の活性化を図る事業               | 472,425            | 8,587          | 運用収益(利子)                        | 302,830        | 市民で支える小学校給食費補助金、産業文化交流拠点(産業創造センター等)整備事業補助金   | 178,182            | △ 294,243   |
| 公共施設等整備基金                | 公共施設の整備や公共用地の取得、一部事務組合の公共施設の整備や公共用地の取得に対する負担金              | 5,600,469          | 16,059         | 運用収益(利子)                        | 871,695        | (仮称)北部地域総合体育館整備、産業文化交流拠点(文化福祉棟)整備、新斎場整備(負担金) | 4,744,833          | △ 855,636   |
| 保育士等確保緊急対策基金             | 教育・保育施設における教育・保育の提供に携わる者の確保やその有する優れた資質能力の確保に係る事業           | 57,339             | 165            | 運用収益(利子)                        | 3,937          | 子ども・子育て支援事業                                  | 53,567             | △ 3,772     |
| 子ども未来教育基金                | 子どもたちの確かな学力、豊かな心及び健やかな体を育むことを目的とし、教育のより一層の推進及び充実を図る事業      | 200,000            | 547            | 運用収益(利子)                        | 18,455         | 大型提示装置整備事業(小・中学校)                            | 182,092            | △ 17,908    |
| 合計                       |  | 34,287,817         | 109,047        |                                 | 2,875,971      |  | 30,549,304         | △ 3,738,513 |

※山間へき地医療体制強化基金は、条例改正により平成31年4月1日から名称を国民健康保険直営診療所管理運営基金に改正し、国民健康保険特別会計(直診勘定)に設置します。